

津波碑の碑文説明パネルが完成 刻まれた思いと教訓確かなものに



津波碑の位置図

船越地区の津波碑と碑文説明パネル(地図番号⑥)

町教育委員会と山田高校生が協働で手掛けてきた津波碑の碑文説明パネルが、今年3月に完成しました。令和4年1月に開かれた山田高校の「ふるさと探究高校生議会」での提案をきっかけに「津波震災伝承事業」として取り組まれてきたもので、2月にはガイドブックも作製されています。これらは、町内各所に点在する津波碑を町内外に周知する必要があるとの生徒らの強い思いから生まれた貴重な史料であることから、町では幅広く活用していくことにしています。

山田高校生の提案 受けて町が事業化

町内には、11カ所に14基の津波碑が設置されています。どれも明治から昭和初期にかけて建てられたもので、石碑が古いために刻まれた文字も分かりにくく、旧字体のため内容も理解できないといった状況となっています。このため、現在の山田高校2年生(当時1年生)は、町に提案を行った卒業生の思いを受け継

作製者からひとこと



生駒 一真さん
(山田高校・2年)

津波碑の内容を伝える見やすいデザインにするため、みんなで意見を出しました。ガイドマップでは、石碑の内容だけでなく、このマップを手にとった人の視点に立って取り組みました。



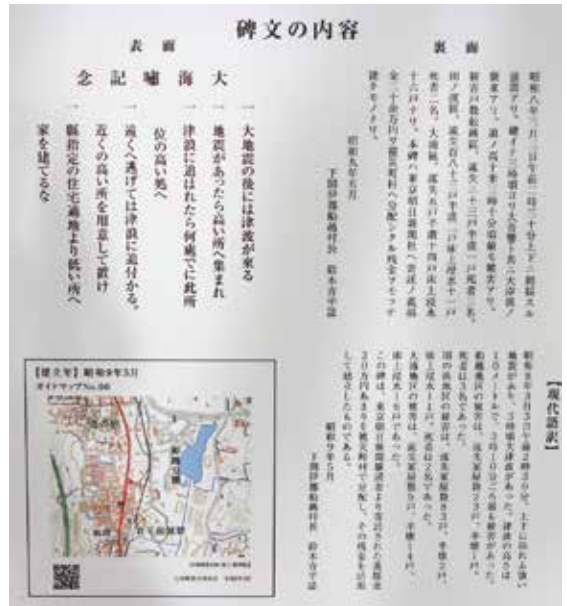
上林 美玖さん
(山田高校・2年)

津波碑は先人たちが残してくれた教訓です。その教えを忘れず、自身の周りや次世代に伝えていきたい願いから私も力を入れて取り組みました。ぜひ、足を止めて見ていただきたいです。



佐々木 恵麻さん
(山田高校・2年)

マップを基に津波碑を訪れ、津波の恐ろしさを知ってほしいです。二度と同じ被害を出さないためにも、津波碑文説明パネルを見ていただき、先人たちからの教訓を語り継いでほしいです。



船越地区に設置した津波碑文説明パネル

「現代語訳」
「現代語訳」は、津波碑の碑文を、上記の山田町の歴史を踏まえ、現代語訳したものです。津波の恐ろしさや、先人たちの教訓を、現代語訳したことで、より多くの人に伝わりやすくなりました。また、津波の被害状況を記録した「記録碑」があり、中には全国からの支援などの内容が記されている碑もあります。

「名称や原文再現し現代語訳など記載」
製作した碑文説明パネルの上には、津波碑の名称や碑文の原文が再現され、下部には碑文を現代語訳したものと、位置図が記載されています。碑文説明パネルは、順次設置工事が進められており、令和5年度中に町内全ての津波碑の前に設置される予定です。

津波碑には、例えば、「ここより下に家を建てるな」などといった津波への警鐘が彫られた「教訓碑」のほか、亡くなった人々を慰霊する「慰霊碑」や地区の被害状況を記録した「記録碑」があり、中には全国からの支援などの内容が記されている碑もあります。

名称や原文再現し現代語訳など記載

2月には津波碑のガイドマップ完成

碑文説明パネルと同様に町教育委員会と山田高校の生徒が製作に取り組んできた「津波碑ガイドマップ」は、今年2月に完成しました。三つ折りA4判で石碑が建立された年や所在地、最寄りのバス停や駅からの所要

時間を載せ、足を運びやすくする工夫を施しているほか、外面には、東日本大震災以前の地震津波の被害規模をまとめています。製作した部数は5千部で、マップは町内の公共施設で入手することができ、希望する人は直接施設にお申し出ください。



作製した「山田町津波碑ガイドマップ」

今後の震災伝承に役立つ貴重な史料

私たちに、先人の思いをとなぎ震災を風化させてはならない使命があります。今回製作した津波碑文説明パネルとガイドマップは、今後の伝承活動に役立つ貴重な史料となることから、町ではこれらを活用し、町内の小中学校などに出向き震災伝承授業を行うなど、さまざまな取り組みを進めていくことにしています。

◆問い合わせ 町生涯学習課文化係 ☎82-3111 内線631へどうぞ。